

風紋

vol.75 2022 / Autumn

鳥取大学広報誌 FU-MON



ニューノーマル時代に対応した 新しい留学のカタチ



注目の
研究

障がい児教育の現場で培った
当事者理解の大切さを伝える

私たちの
研究室

農学部共同獣医学科
獣医薬理学教育研究分野

トリカツ!
特別編

学会やコンペなどで表彰された学生たち

教養の場

教養科目「歴史学」

NEW

とりりんの授業潜入レポート

授業の様子をご紹介します!

ニューノーマル時代に対応した 新しい留学のカたち

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、鳥取大学が取り組む海外留学・国際交流にも大きな影を落とした。

しかし、そんな困難に対処し、留学への夢を抱く学生たちをサポートし続けているのが、
教育支援・国際交流推進機構の「国際交流センター」だ。

今号は、新しい時代に対応した海外留学・国際交流のプログラムを展開する、本センターの取り組みをご紹介します。



CHAN CHEONG JAN 教授
教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター



海外渡航したい学生は要チェック!

✈️ コロナ禍における 海外渡航について

新型コロナウイルス感染拡大など社会情勢が不安定な現在は、派遣対象となる留学プログラムを限定しています。派遣を希望する学生には安全管理に関する講義受講のほか、派遣先の感染症危険情報レベルにより、渡航理由書や行程表、留学先国での安全管理・危機管理をまとめたものなど、さまざまな安全管理に関する書類の提出を義務付けています。

オンラインの利点を生かし、 質の高い異文化交流を展開

この2年間、海外渡航が制限され、計画どおりの留学ができず、つらい思いをした学生が多い。彼らの意欲を消してはいけない、コロナ禍であってもできることがあるはずと、国際交流センターでは渡航留学ができない時でも学生が継続的に異文化に触れ国際感覚を身に付けられるようにと、国内でできる各種プログラムの充実を図ってきた。

その一つが、オンラインプログラムだ。今や、ウィズコロナ・ポストコロナ社会の新しいスタンダードとして定着している。「当初は渡航留学の代替として導入したのですが、次第にオンラインでしか得られないメリットが見えてきました」と話すのは、同センターのチャン・チェオン・ジェン教授だ。「一つは参加しやすさ。

コストも時間もかからないし、複数の受講もOK。それに、1つのプログラムに複数国の人が参加すれば、渡航留学よりも多角的な交流ができるんです」と目を輝かせる。

また、「Zoom」などのオンライン会議サービスは機能性が高い。「発言内容を事前にチャットに入力しておけば、英語の発音が多少違っていても相手に伝わりやすい。コミュニケーションのロスが少なくなるから、学びの質が上がる」という。チャット内容が保存でき、録音・録画機能もあるため、振り返りがしやすいという利点も。ツールをフル活用し、これまで以上に気軽に、広く世界とつながるプログラムを用意し、学生たちに参加を呼びかけている。

ハイブリッドな留学で 無駄なく、効果的に学ぶ

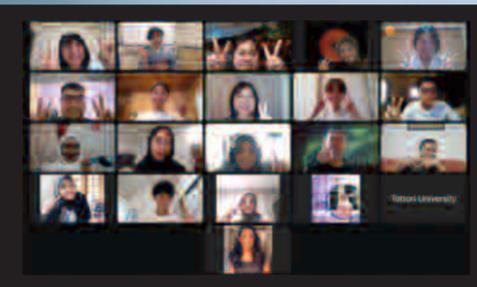
最近、渡航留学の規制が徐々に緩和されており、本学でも一定の条件を満たせば現地へ行くことができるようになってきている。対面での学びは何ものにも代えがたい。だが、厳しいコロナ禍で手に入れたオンラインプログラムの手法は、これからは必要不可欠だとチャン教授は言う。

て学んでいた地域の文化や歴史、あるいは「完璧な英語でなくても伝わるんだ」という気付きの部分を、事前にオンラインプログラムで経験することで、現地での学びがより有意義で効果的になる。両方を組み合わせ「ハイブリッド型」留学が、これからは「当たり前」になるだろう。

そして、もう一つのキーワードは「協働」。本学の海外留学プログラムは、日本人学生が渡航先の言語や文化を学ぶという一方通行ではなく、現地学生も日本語や日本文化を学ぶという双方向のプログラムへと進化している。対等な関係になることにより活発な交流ができるし、受け身ではなく能動的な学びに発展できる。

困難を乗り越えてきたからこそ見えてきた、新しい留学のカたち。それを生かして、ニューノーマル時代のグローバル人材が誕生するのはそう遠くない。

マレーシア・マラヤ大学とのGlobal Gateway Online Programの様子



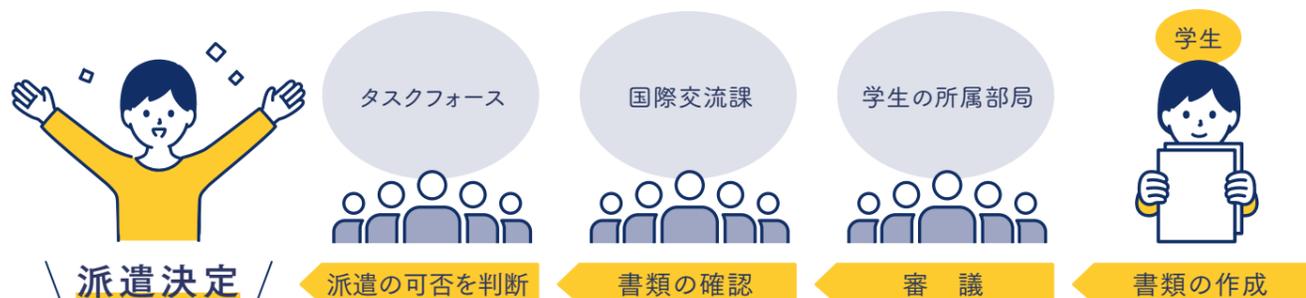
鳥取大学
国際交流
留学情報
はこちら



イメージキャラクター
とりりん



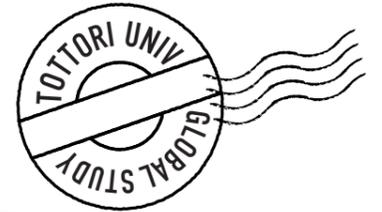
海外派遣決定に係る手続き(感染症危険情報レベル3の場合)



＼ 学内でもここまでできる! /

グローバルキャンパスライフ @鳥大

国際交流センターでは、本学キャンパス内で語学力、多文化理解、グローバル感覚を磨くことができるよう、さまざまなプログラムを用意しています。どれから始めてもOK、鳥大生の“はじめての一步”を応援します!



03 語学強化コース

海外留学、海外派遣プログラム、および海外実践教育プログラムへの参加のために実践的語学力の向上を図りたい学生、持続的に実践的語学力の強化を図りたい学生を対象に開設するコースです。

Speakingを重視し、Reading、Writing、Listening、Presentationを組み合わせた授業を週に2回行います。英語、中国語、スペイン語を学ぶことができ、昼休み、もしくは放課後に授業が行われます。



01 G-frenz

国際交流センターと国際交流課に所属する学生団体です。国際交流活動の企画・運営、外国人留学生の学習・生活サポート、日本人学生の留学のアドバイスを行っています。日本人学生だけでなく留学生もメンバーとなっており、協働して活動する中で、多様な背景を持つ留学生と日本人学生がお互いの言語や文化を学び合うことができます。



04 Global Gateway Online Program

コロナ禍により夏・春期留学プログラムが中止となった場合でも、継続的に異文化に触れる機会を増やしながらい国際感覚を身に付けられるよう、オンラインプログラムを実施しています。

オーストラリア、カナダ、マレーシア、メキシコ、台湾など、海外協定校等の講師陣による遠隔講義や現地学生との国際交流・学習を通して異文化理解度を高め、語学学習の意欲向上につなげています。渡航留学に備えた受講だけでなく、「渡航留学はハードルが高いがオンラインなら」と参加する学生も多数います。



一度に複数受講も可能、グローバル力めきめき成長中!

僕は将来、途上国や乾燥地などの問題解決に寄与する国際的な仕事がしたいと考えています。夢に向かって積極的に行動しようと思い、1年次の夏休みにメキシコとマレーシア、次の春休みには台湾とオーストラリアのプログラムを受講しました。

現地学生がバディとして付き1対1で学習・対話するもの、グループワークでプレゼンを作成・発表するものなど、プログラムごとに特徴があり、どれもすごく面白かったです。講義時間外もSNSを活用して現地学生とつながり、プレゼンの打ち合わせや雑談をするなどして交流を深めました。メキシコプログラムでは、スペイン語訛りの英語が聞き取りにくく苦労。でも、グローバルに活躍するためには母語によって異なるいろいろな訛りを知っておくべきと言われて、モチベーションが上がりました。

受講後、外国人留学生の友人から「英語がうまくなったね」と言われました。オンラインプログラムを通して培ったグローバル力を、次は渡航留学で生かしていきたいです。



ささき ゆうさく
佐々木 優作 さん
農学部生命環境農学科 2年

キャンパス内でも豊かな国際交流ができます!

英語が好きで海外留学や国際交流に興味を持っていた私にとって、G-frenzはまさにピッタリの活動。存在を知ってすぐに参加を決めました。

昨年度は「異文化交流」の企画・運営を担当。「こどもの日」や「七夕」など、季節ごとに行われる日本の伝統行事に着目し、外国人留学生にその意味や内容を英語で紹介しながら、日本人学生と交流を深めてもらおうと考えました。口頭説明だけでなく、共同作業を盛り込むように工夫。鯉のぼりや七夕飾りを一緒に作ることで会話が弾み、楽しい時間を過ごすことができました。

留学生は英語で話してもいいことに安心感があり、G-frenzの催し物に参加しやすいようです。また日本人学生にとっては英会話に挑戦する良い機会となっています。「英語をもっと頑張ろうと思った」という感想が聞かれ、やりがいを感じました。私自身も留学生の友人が増え、英語の表現力がついてきました。この経験を糧に海外渡航への夢を広げているところです。



ふじわら
藤原 ふゆ さん
農学部生命環境農学科 3年

02 Online World Café

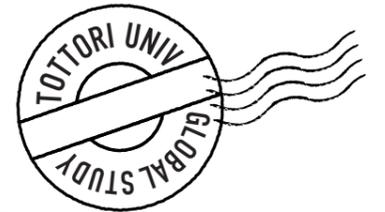
海外の大学生とリモートで会話をする「Global Café」や、海外に滞在している人に現地の様子をレポートしてもらい、世界中の風景や現地の生活の様子をリアルタイムで疑似体験できる「Online World Tour」などを開催しています(学内の留学生と交流する「English Café」と「日本語Café」は対面で実施)。

ウィズコロナ・ポストコロナ禍でも世界中のさまざまな文化に触れながら国際感覚を身に付けられるよう、オンラインを利用した新たな異文化交流の機会を提供しています。



そして舞台は世界へ！ 海の向こうで頑張る鳥大生

定められた条件をクリアし、海外留学へ向かう学生たちが少しずつ出てきています。目標に向かって邁進している2人の学生に、これまでの道のりや現地での学びについてインタビューしました。



カンボジアに留学中!

留学先
カンボジア
留学期間
2022年4月～
2023年2月

はやし ゆうたろう
林 悠太郎 さん
地域学部地域学科 2年

カナダに留学予定!

※取材当時(2022年8月)



留学先
カナダ
サイモンフレイザー大学
留学期間
2022年
9月～12月

むらやま ひりゅう
村山 飛龍 さん
工学部化学バイオ系学科 4年

自分の目で見、感じることでしか得られない真実がある

僕は今、カンボジアのタットムという村にいます。文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」の制度を利用して、「特定非営利活動法人アジアの子どもたちの就学を支援する会(Asia School Attendance Partnership)」(以下、ASAP)のインターンシップという形で留学しました。

きっかけは、小学6年生の時に父とミャンマーへ行ったこと。日本の豊かな生活しか知らなかった僕は、そこで初めて物乞いをしている人を見て、貧困を肌で感じました。本やインターネットで知識として知ることはできますが、アジアの農村の貧困について実際に自分の目で見、体験することで実態を知りたいと思ったんです。

カンボジアの農村には、お金がなくて学校に通えない子がいます。そこでASAPでは、現地のお母さんたちに巾着袋やエプロンなどの布小物を縫ってもらい、日本のお母さんたちがそれを購入する「Mother to Mother」という活動を行って就

労を支援しています。僕は村の人々と一緒に暮らしながら、その運営をお手伝いしています。

村人は皆、輝くような明るい顔で笑いかけてくれます。しかし、よく話を聞いてみると、「明日

もこの生活ができるのか」という不安を抱えていることが分かりました。村のお母さんの1人がデング熱で亡くなるという悲しい出来事もありました。医療レベルや健康意識の低さ、生活インフラの未整備など多くの問題が複合的に絡み合い、命までも脅かしている貧困の現実を目の当たりにしました。

海外留学の準備は申請書類の作成などが大変だと思われるかもしれませんが、一つ一つはそれほど複雑ではなく、普段書いている講義のレポートとそう変わりません。また、留学といってもいろんなパターンがあり、語学留学、交換留学だけでなく、僕のようにインターンシップでいく形も。自分に合うものを探すのも留学の勉強だと思えば楽しくできると思います。



伝統衣装でアンコールワット

コロナ禍に培った語学力を携えて、ついに夢の渡航留学へ!

私は好奇心旺盛な性格で、以前から「訪れたことのない国でさまざまな体験をしてみたい」という思いを抱いていました。だから鳥大入学後の1年次には、早速「夏期マレーシア多文化協働実践プログラム」に参加。初の海外研修に大きな刺激を受けたことから、2年次後期にマレーシア・マラヤ大学へ交換留学しようと決めました。ところが、コロナの感染拡大によりオンライン留学に変更になってしまっ…。「現地で学びたい」という思いが強かった私は留学を辞退、渡航できるチャンスを待ち、国内で力を付ける方向へシフトチェンジしました。

これまでに語学強化コースの英語上級、メキシコ・オーストラリア・カナダのオンラインプログラム、アメリカ・バーモント大学との「Global Café」など、国内でできるプログラムや国際交流活動に可能な限り参加しました。同じような経験を何度も積み重ねるうちに、「英語って別に完璧に話す必要はないんだ」と

と感覚で分かってきて、「間違ってもいいから積極的にコミュニケーションをとる」という姿勢が身に付きました。一度は断念した留学の夢が、今ようやく叶おうとしています。工学部のプログラムを利用してカナダ・サイモンフレイザー大学へ、4カ月間の短期留学へ行きます。研究インターンシップなので、日常会話だけでなく専門用語の勉強も必要。携わる研究の理論や背景など、関連する知識も理解しておかなくては!充実した時間を過ごせるよう、現地の担当教官から頂いた英語の研究論文を読むなどして準備を進めているところです。

私は「海外留学をする」という目標を決め、それを実現するにはどういったステップを踏んでいけばいいかを考え、一つ一つ実行に移してきました。できない理由は、探そうと思えばいくらでも探せます。そうではなく、「今できること」に挑戦することで道が開けるのだと、自分自身の経験を通して実感しています。



G-frenzでの活動
オンラインキャンパスツアーを企画



留学生としゃんしゃん傘踊りの練習

村のお母さんたちとマンゴー剥き

障がい児教育の現場で培った 当事者理解の大切さを伝える



わたなべ まさと
渡邊 正人 講師
地域学部地域学科人間形成コース
専門 特別支援教育学／視覚障がい教育／重度・重複障がい教育
趣味 トレーニング／ガーデニング

人の見え方、聞こえ方、感じ方はさまざまです。その人がどう見え、聞こえ、感じているかを知ることは、その人を理解することにつながります。障がいのある子どもたちに対する実践的な教育や支援法とともに、当事者理解の大切さを伝えています。

一人ひとりの見え方を 正確に捉える

私は、平成2(1990)年から令和3(2021)年まで、千葉県の特別支援学校の教員として31年間勤めてきました。教師生活の中で、肢体不自由児や知的障がい、視覚、聴覚に障がいのある子どもたちや保護者の方々と過ごし、年齢も幼稚部から成人まで、幅広い年齢層の人たちと関わってきました。一言に「障がい」といっても、一人ひとりで障がいの種類は違いますし、その程度も異なります。また病気や発達の状況によって、見え方や聞こえ方は本当にさまざまです。教育の現場では、それぞれの見え方や聞こえ方に合わせた教育や支援を提供していくことがとても重要です。

一人ひとりに合った教育や支援を教育現場でスムーズに提供するためには、まず、その子の見え方の特徴を正確に把握しなければなりません。しかし、小さな子どもや、自分で体を動かすのが困難な重度・重複障がい児にとって、その見えている度合やどんな刺激を感じ取れているかを判断するのはとても難しいことです。そこで、視覚障がいのある人たちを対象に、見え方の基礎的なデータを集めて検証



図1 視覚支援に向けた視機能評価の方法

し、弱視の幼児や児童向けの視機能評価方法を選定しています(図1)。また、重度・重複障がい児の見え方や聞こえ方、感じ方などの実態把握を通じて初期学習理論を確立し、その子の感覚や認知の様子などを発達の視点から客観的に判断できる方法を提案しています。

色やコントラストで変わる 見えやすさ

見え方の研究では、文字や背景の色、コントラストをさまざまな条件で提示して、視力検査やパズルなどの課題達成までの時間を計測し、数値化して比較します。例えば、眼の中の水晶体が濁る白内障のある子は、白い背景に小さな黒い文字が書かれている紙

を見ると白い背景がまぶし過ぎるため、黒い背景に白い文字を書いた方が見えやすくなります(図2)。また、近視や遠視、乱視などの屈折異常の人はそれぞれで見えやすい文字サイズが異なるし、白内障はゴシック体、近視はUD書体〔注〕と、文字のフォントによっても見えやすさは変わる、などの実態が把握できました(図3)。

子どもたちの視機能評価方法の指標の基準となるだけでなく、教科書の選定や教材・教師向けプログラムの開発、また、ルーペや単眼鏡、遮光眼鏡など、見えやすくなるためのツールの選定などに役立っています。見え方に困難のある子が見えやすい方法を得ることは、見ることの楽しさを知ることもあります。見ることの楽しさは学習意欲の向上にもつながりますし、自分

てもらえるよう、学生にさまざまな視覚障がいを体験できるグループを付けてもらい、視覚に障がいのある人たちが実際にどのように見えているのかを経験してもらっています。経験することで、ずっと首を振っている子に対して「視野狭窄があるために、首を振って広く見ようとしているのかもしれない」と感じ取ったり、机に前かがみになる子を「教材にピンとを合わせようと顔を近づけているのだろう」と理解したりできるように思います。

当事者理解を深めることで、なぜその姿勢になつてしまうのか、なぜそのことにこだわっているのかなど、子どもたちの行動の意味性を発達の視点から捉えられるようになります。一人ひとりへの寄り添い方を知ること、特別支援教育だけでなく、どの教育現場や職場でもとても大切なことです。障がいだけでなく、性のあり方、経済状況など多様な人々の気持ちを当事者のように理解し、寄り添える人材を育てていきたいです。



図2 弱視シミュレーションレンズを用いた視力値の比較実験

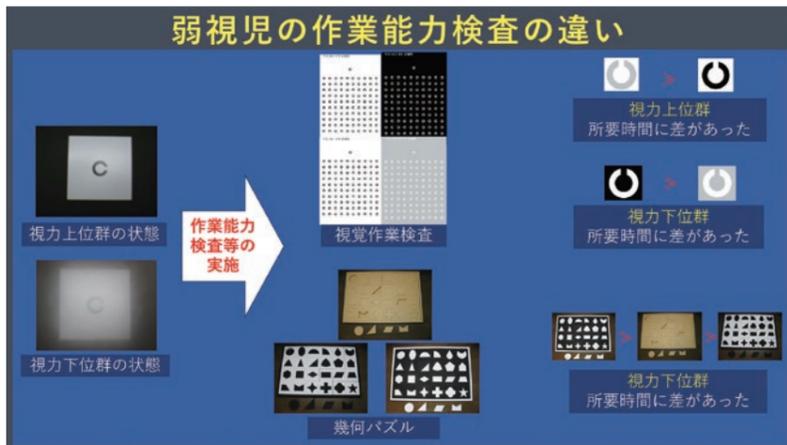


図3 弱視児の作業能力検査等による比較研究

小さな変化を感じとる

特別支援教育の魅力は、一人ひとりと濃く付き合えることです。重度・重複障がいの子どもたちと長く一緒に過ごしていると、表情や呼吸の仕方、抱っこした時の身体の硬さなどの小さな変化から、その日のその子の体調が分かるようになります。大切なのは、その子が感じていることをこちらも感じるということです。相手の立場をリアルに体感し

〔注〕UD書体
ユニバーサルデザインフォントのこと。できるだけ多くの人に分かりやすく、読みやすいように可読性、表示適性、視認性、識別性に配慮されたフォント。



おおた としお
太田 利男 教授
農学部共同獣医学科
基礎獣医学講座

痛みのメカニズムを分子レベルで解析

痛みや熱を感知するセンサーは「Transient Receptor Potential (TRP) チャンネル」という細胞膜上に存在するタンパク質で、TRPチャンネルが過剰に機能することで、例えば、普段と同じ温度のお湯でも日焼けした肌にはヒリヒリと痛く感じるようになります。がんなどの病気で強い痛みが生じるのも同じメカニズムといえます。

痛みなどの苦痛を抑制するためには、その元となる刺激を受ける場所についてよく知ることが重要です。私たちの研究室では、TRPチャンネルの機能を分子レベルで調べ、どういった条件で痛みが生じるのかというメカニズムの解明に努めています。こういった基礎研究の積み重ねが、副作用の少ない新しい鎮痛薬の開発につながると期待されています。



私たちの研究室

※撮影時のみマスクを外しています。

農学部 共同獣医学科

獣医薬理学教育研究分野

担当教員 太田 利男 教授 / 高橋 賢次 准教授

耐え難い“痛み”を、そのセンサーからブロックする



“痛み”は、傷や病気などの異常が生じたことを知らせてくれる大事なサインだ。私たちの身体には、痛みをはじめ、熱やかゆみなどを感知する“センサー”が無数に存在し、さまざまな刺激に対処するために役立っている。しかし、過剰に続く強い痛みは、「生きたい」という気力すら奪うほどの大きな苦しみとなる。そして、痛みに苦しめられるのは、ヒトも動物も同じだ。獣医薬理学教育研究分野では、そのセンサーに着目し、痛みを和らげたり、抑えたりする方法を探っている。

センサーの種類は多く、その一つ一つの機能や作用を解析することで、よりピンポイントに痛みを制御できるようになるという。学生たちは午前9時に登校し、健康的な生活リズムを保ちながら講義や実習の合間をみて、高度な知識と技術が要求される緻密な研究活動に取り組む。その一方で、互いの誕生日にはサプライズでケーキを用意したり、お土産をみんなで食べたり、手作りカレーで獣医師国家試験の合格を祈願したりと、学業とのメリハリを上手につけて学生生活を楽しんでいる。

太田教授は「自分たちの研究が、新しい発見の一端を担っていることを自覚し、好奇心を持って社会に貢献できる人になってほしい」と期待している。

＼直近5年以内の／

卒業生の主な進路

岐阜大学・鳥取大学大学院共同獣医学研究科、小動物臨床、地方公務員(岡山県、富山県、兵庫県)、日本農薬、NOSAI北海道、NOSAI千葉、NOSAI鳥取、MSD製薬

はしもと みほ
橋本 美穂 さん
岐阜大学・鳥取大学大学院
共同獣医学研究科 共同獣医学専攻 1年

ハーブの鎮痛作用のメカニズムを解明

植物のラベンダーやベルガモットから抽出した精油成分は、香りがよく、リラックス効果があることが広く知られていますが、鎮痛作用があることも分かっています。鎮痛作用が引き起こされるメカニズムを分子レベルで解析し、細胞膜上に多数あるセンサーの中でどのセンサーに作用しているのか、どのような痛みに対して鎮痛効果を示すのか、また精油成分中のどの成分に反応しているのか、などを調べています。ラベンダーやベルガモットの精油成分は身体にやさしい成分として知られており、副作用の少ない鎮痛成分の特定につながることを目指しています。

おかべ しょうた
岡部 省太 さん
農学部共同獣医学科 6年

水虫治療薬の副作用を軽減する方法を検証

私たちが普段使っている医薬品の中にはさまざまな副作用が現れるものがあり、例えば、水虫などの治療薬として使われる抗真菌薬は、副作用として塗った場所に痛みが生じる疼痛(とうつう)作用があることが知られています。「抗真菌薬による痛みの元になるセンサーは何か」について細胞レベルで調べ、抗真菌薬は、TRPA1とTRPV1という2つのセンサーを活性化させることを明らかにしています。抗真菌薬と共にTRPチャンネルの活性化を阻害する薬を用いることで、副作用の軽減に有効であることを検証していきます。

もりもと まい
森本 麻衣 さん
農学部共同獣医学科 6年

炎症やがんによって起こる痛みの抑制を目指す

身体に細菌やウイルスが侵入したり、スポーツで筋肉を傷めたりした際に痛みや腫れが生じることを「炎症」といいます。私たちの身体は通常、pH値7.0~7.4の中性あるいは弱アルカリ性ですが、炎症やがんなどの病気の発生によって、筋肉や内臓など組織が酸性化することが分かっています。例えば、傷口にレモン汁がつくと痛みを感じるように、体内で生じた酸も周辺に存在するTRPチャンネルをはじめとする様々なタンパク質を活性化させ、痛みを引き起こします。炎症やがんにより引き起こされる過剰な痛みの軽減や抑制につなげるため、そのメカニズムの詳細な解明に取り組んでいます。

医学部

第42回学校茶道エッセイ 学生の部 優秀賞 <2021年度>

「日は好日」

よしおか みかこ

吉岡 美加子さん 医学部 医学科



この度、茶道裏千家淡交会総本部主催の「学校茶道エッセイ」にて学生の部の優秀賞をいただきました。茶道を通して感じたことを改めて言葉にするのは非常に難しく、適した言葉を探して推敲を重ねました。その結果、このエッセイは私のこれまでの茶道体験の集大成のように感じています。新型コロナウイルスの影響もあり思うように活動できない時期もありましたが、茶道部での活動を通して人とのつながりを感じることが出来ました。このようなコンテストをきっかけに、多くの方に茶道の良さを伝えていければと思っています。日頃から茶道部を支えてくださっている先生方、部員の方々、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

りました。茶道部での活動を通して人とのつながりを感じることが出来ました。このようなコンテストをきっかけに、多くの方に茶道の良さを伝えていければと思っています。日頃から茶道部を支えてくださっている先生方、部員の方々、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

第46回有機電子移動化学討論会 優秀ポスター賞 <2022年度>

ワンボットでの電解重合－異性化－環化を鍵プロセスとする環状 α -1,4-オリゴグルコサミン合成

えんどう ひろふみ

遠藤 大史さん 大学院持続性社会創成科学研究科 工学専攻

「ワンボットでの電解重合－異性化－環化を鍵プロセスとする環状 α -1,4-オリゴグルコサミン合成」というタイトルのポスター発表で受賞しました。環状オリゴ糖としてグルコースからなるシクロデキストリンやラムノースからなるシクロアワオドリが知られていますが、この研究ではグルコサミンからなる新しい環状オリゴ糖を合成しました。しかも、従来の反応剤

を使った化学合成ではなく、電極反応を利用していることがこの研究の特徴です。なお、合成した環状オリゴ糖が傘踊りのしゃんしゃん傘に形が似ていることから、「シクロカサオドリン」と命名しました。今後、様々なシクロカサオドリンの類似体も合成し、環状オリゴ糖の新しい機能を開拓したいと考えています。



工学部

C H E C K T H I S O U T !

鳥大生の活躍を紹介しします

トリカツ! 特別編

トリカツ!

学会やコンペなどで表彰された学生たち

受賞学生一覧(抜粋・順不同)	
学生(所属/氏名)	コンペ・賞名など/受賞した賞
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻(修了済み) 落合 勇太さん	2022年度日本塑性加工学会学会賞 学生奨励賞(修士)
工学部機械物理系学科(卒業済み) 岡本 真宙さん	日本機械学会中国四国学生会第52回学生会卒業研究発表講演会 優秀発表賞 <2021年度>
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻 上村 春貴さん	日本機械学会中国四国学生会第52回学生会卒業研究発表講演会 優秀発表賞 <2021年度>
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻 藤本 隼汰さん	日本機械学会中国四国学生会第52回学生会卒業研究発表講演会 優秀発表賞 <2021年度>
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻 原田 遼河さん	令和4年度(第74回)土木学会中国支部研究発表会 若手優秀発表者賞
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻 和田 龍汰さん	令和4年度(第74回)土木学会中国支部研究発表会 若手優秀発表者賞
大学院持続性社会創成科学研究科工学専攻 田中 大貴さん	令和4年度(第74回)土木学会中国支部研究発表会 若手優秀発表者賞
農学部共同獣医学科 新谷 亜蘭さん	2021年度日本農芸化学会中四国支部 奨励賞(学生部門)
農学部生命環境農学科 有年 梨沙子さん	2021年度日本農芸化学会中四国支部 奨励賞(学生部門)
大学院持続性社会創成科学研究科農学専攻 田中 淑乃さん	2021年度日本農芸化学会中四国支部 奨励賞(学生部門)
農学部生命環境農学科 中川 里穂さん	日本育種学会 第13回中国地域育種談話会 優秀発表賞 <2021年度>
大学院連合農学研究科 大山 幸輝さん	第75回農業農村工学会中国四国支部講演会 奨励賞 <2021年度>
大学院持続性社会創成科学研究科農学専攻 山口 桃子さん	第75回農業農村工学会中国四国支部講演会 奨励賞 <2021年度>
大学院持続性社会創成科学研究科農学専攻 門田 直哉さん	第75回農業農村工学会中国四国支部講演会 奨励賞 <2021年度>

学業や研究、課外活動など、日々懸命に取り組んでいる鳥大生。その活動が評価され表彰を受けた学生が数多くいます。今回のトリカツ!では、学会やコンペなど外部で表彰された学生を紹介しします。ここで紹介できるのは、表彰を受けた学生の中でもほんの一部ですが、このほかにも幅広い分野で鳥大生は活躍しています。

農学部

第65回日本菌学会大会 最優秀賞(口頭発表) <2021年度>

亜高山帯森より採取された *Hydnum repando-orientale* 類似菌の分類学的精査

すがわら りょう

菅原 遼さん 大学院連合農学研究科



カノシタ (*Hydnum repando-orientale*) は、フランス料理等で愛用される食用きのこ種です。本種は鳥取県など低地の広葉樹林に発生することが知られていましたが、我々の調査により長野県の亜高山帯の針葉樹林でも類似した子実体が発見されました。そこで子実体の形態観察や塩基配列に基づく分子系統解析、胞子分離菌株を使った交配試験を行うこ

とで総合的に精査したところ、低地集団と高地集団は既に姉妹種として分化した痕跡が見つかり、別種であることが明らかとなりました。本発表は国内における未知の食資源の存在を明らかにしただけでなく、カノシタ属のこの祖先がどのような種分化イベントを経て現在の種多様性を生み出したかを知るための一つのヒントになると考えています。

鳥取県福祉研究学会創立15周年記念研究発表会 奨励賞

当事者の「語り」(ナラティブ)が拓く地域共生の可能性
～「語り・学び・de愛プロジェクト」の実践報告～

<2021年度>

もりした のぼる

森下 昇さん 大学院持続性社会創成科学研究科 地域学専攻

本研究は、八頭町社会福祉協議会と地域学部竹川研究室との連携プロジェクトとして実施されており、社協の関係団体である身体・知的・精神の3障がい者団体の当事者と福祉専門職、学生・教員の計13名による共同研究チームによる実践報告です。研究の目的は、福祉学習にナラティブアプローチを応用し、「語り」と「対話」を通じて当事者理解の促進

と当事者のエンパワメントを実現することです。今後も引き続き高齢者や障がい者等の多様な当事者が、学校や身近な地域で「語り」と「対話」を通じて地域住民との交流と相互理解を促進するためのプログラムの開発を行うとともに、これらの実践を通じて当事者が地域活動に当たり前のように参加・活躍できる「地域共生社会」の実現を目指したいと思います。



地域学部

現代社会で 生きる力を磨く

豊かな教養と幅広い視野を備えた
素敵な大人になるための
『**全学共通科目**』を
ピックアップしてご紹介します。



世界各地の実質GDP内訳(推定) (%)

年	1500	1600	1700	1820	1870	1913	1950	2000
アジア	65	65	62	59	38	25	19	38
ヨーロッパ	18	20	22	23	33	33	26	20
アメリカ	0	0	0	2	9	19	27	22

A・マディソン『経済統計で見る世界経済2000年史』(柏書房2004年)より

19世紀までGDPの6割はアジアが占め、ヨーロッパが優位となるのは20世紀初頭にとどまることが分かる。

歴史学

大航海時代を契機として世界の一体化は急速に進み、産業革命を経てヨーロッパ中心の資本主義世界が成立します。この授業ではヨーロッパと新大陸・アジアとの相互関係について、地理上の発見、産業革命、世界大戦を契機とする構造変化に留意しながら考えます。



担当教員

武田 元有 教授
教育支援・国際交流推進機構
高等教育開発センター



オンライン授業から、
何度も視聴できるが、
自己管理能力も必要。



受講した学生の声

今井 愛さん
農学部生命環境農学科 2年

● この授業を選んだ理由は？

正直に申し上げますと、歴史は苦手科目で、この授業も偶然により受講することになりました。最初の授業では、自分が内容を理解できるのか不安に感じ、履修を続けるか悩みました。受講中は、高校生用の教材も復習に利用していました。

● 授業を受けた感想は？

歴史に対して今までと異なる視点から学ぶことで、新たな知識を得られただけでなく、作物が歴史上重要な意味を持つこともあり、農学部の専門科目での理解を深めることができました。今では履修して良かったと思っています。

ヨーロッパとアジアの 関係から歴史を見る

現代の資本主義世界は18世紀イギリスの産業革命に始まります。その背景として、かつてはイギリスに固有な中産階級の成長や、禁欲・勤勉の精神が注目されてきました。しかし、南北問題によって先進国の発展と途上国の貧困が表裏一体の現象として把握されて以来、イギリス産業革命の要因として、むしろ世界市場との密接な関係が重視されています。

現に、産業革命の中心となった綿織物の着用はもちろん、イギリスの伝統的な紅茶文化なども決してイギリス固有のものではなく、インドの綿布、カリブ海の砂糖、中国の茶など、外国商品の流入を前

提としていました。最近では、歴史上アジアが世界GDPの大半を占めていたこと、ヨーロッパは長らく辺境地帯であったことにも指摘されています。もともと、それならなせ劣勢であったヨーロッパが世界経済の中枢になったのかという疑問は残り、また現在GDPが世界2位の中国の経済発展はあくまでヨーロッパ的な成長観念を前提にすることも指摘されています。

いずれにせよグローバル化の進む現代、各国の特質を諸国の相互関係から捉える視点は不可欠となっており、折しも高等学校では2022年4月から従来の日本史・世界史の縦割り教育を見直す「歴史総合」が始まる中、世界的な視点から歴史を把握することは今後ますます求められるでしょう。

自分たちで作ったコンクリートの強さを測定中!みんな真剣!

測定後の割れたコンクリート

コンクリート用骨材を準備中~

砂の性質を測定するって、
なんだか細かそう!
みんな頑張れ!

工学部社会システム土木系学科
土木工学プログラム 3年生

授業名 構造・材料実験

本講義は、鋼製部材の内部に働く応力の測定等を行う構造実験と、材料実験に分かれています。材料実験では、コンクリートの構成材料(セメント、骨材)の品質評価やコンクリートの配合設計・作製を行い、作製したコンクリートの強度試験等を実施します。

とりりん記者が取材してきた授業の様子をご紹介します!

『とりりん』の 授業潜入レポート

農学部生命環境農学科
国際乾燥地農学コース 2年生

授業名 国際乾燥地農学演習

砂丘地でのラッキョウ生産農家やJA関係者との協働作業を通じて、現状や課題について実践的に学び、学問的観点から持続的な解決策を探求します。

鳥取県産のラッキョウの栽培・収穫・調整から販売・流通まで詳しく解説!
みんなメモを取りながら真剣!



協働で作業しながら、
農家さんが抱えている
課題の解決策を
考えているよ

固定した包丁で
根と葉を切り落とす!
ケガに注意だよ~

農学部生命環境農学科
植物菌類生産科学コース 2年生

授業名 農業基礎演習 II

本授業は「農場実習」です。学内の実習圃場で多種多様な農作物の栽培技術を身に付ける実習を行っており、ラッキョウの有機栽培にも取り組んでいます。

砂丘ラッキョウについてJA職員さんから
教えてもらっているよ!

台湾師範大学 林准教授による講演会を開催

2022.7.22



台湾師範大学から林伯准教授をお招きして、講演会を開催しました。同大学とは、令和元年12月に学術交流協定を締結し、本協定の窓口である教育支援・国際交流推進機構高等教育開発センターの瀬戸邦弘准教授とのスポーツ人類学に関する共同研究や、講演会を実施しています。

講演会では「スポーツツーリズムと台湾原住民のまちづくり」と題し、台湾に住む16の台湾原住民の暮らしや文化について、台湾師範大学での研究や授業を基に紹介されました。日本語での講演に加え、写真が数多く用いられていたため分かりやすく興味深い内容で、聴講していた学生や教員から質問が飛び交い、有意義な講演会となりました。

「里山生態実習Ⅱ」受講者が 大学構内で木登りを体験

2022.7.22



農学部生命環境農学科里地里山環境管理学コース4年生で「里山生態実習Ⅱ(エコツーリズム)」を受講している学生が、鳥取キャンパス内で木登りを体験しました。

この実習では通常2月に、農学部附属フィールドサイエンスセンター(FSC)の教育研究林「蒜山の森」でスノーシューやクロスカントリースキーなどを用いたエコツーリズムに関する実習を行っていますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。その冬山実習の代替の一部として行われたものです。学生たちは、FSC技術職員の指導の下、大きなケヤキの木にロープを掛け、登ったり下りたりを何度も繰り返していました。

農学部附属フィールドサイエンスセンター 敷地内のリュウゼツランが開花

2022.6.24



農学部附属フィールドサイエンスセンター敷地内のリュウゼツランが開花しました。リュウゼツランはメキシコに自生する多肉植物で、花が咲くのは50~100年に1度ともいわれています。本学では1999年以来、23年ぶりの開花。今年2月頃から花柱が伸び始め、5月には全長約8メートルまで成長し、無事に黄色の花を咲かせました。地元新聞社やテレビ局にも開花は取り上げられ、本学学生・教職員はもちろんのこと、報道を見た地域住民の方々がリュウゼツランを一目見ようと本学を訪れていました。

開花したリュウゼツランの周囲には既に3つの子株が育っており、数十年後に再び開花することが期待されます。



WHAT'S NEW?



大学の動き

在学生の活躍や大学の取り組みなど、鳥取大学の最新情報をご紹介します。

令和4年度大学院連合農学研究科 学位記授与式を挙

2022.9.16



令和4年度大学院連合農学研究科学位記授与式を挙りました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、修了生および関係教職員のみ出席し、基本的感染症対策を徹底した上で実施しました。授与式では中島廣光学長から学位記が、児玉基一朗連合農学研究科長から記念のメダルが一人ひとりに授与されました。

中島学長は「博士課程の修了は研究の終わりではなく、新たな挑戦の始まりです。新たな挑戦には課題が付き物ですが、本学で得た知識と経験が課題解決へと導いてくれるでしょう。皆さんの新たな生活での成功を心から願っています」と告辞を述べ、修了生11名の今後の活躍に期待を寄せました。

学生団体ツナガルドボクが 「暮らすインターン」を実施

2022.8.26~9.5



学生団体「ツナガルドボク」が、昨年度行われた地方創生★政策アイデアコンテスト(主催:内閣府地方創生推進室)にて優秀賞を受賞した「暮らすインターン」を実現しました。「暮らすインターン」は、琴浦町においてインターンシップと現地での短期滞在を併行して行い、地方の魅力を発信する企画。日中は主に、各支援先での就業体験を行いました。夜間は、琴浦町運営の古民家を再生したお試し住宅に宿泊予定でしたが、感染症対策のためホテルにて集団生活を行いました。参加学生からは、「普通のインターンシップでは就業部分のみだが、今回は現地で暮らす部分も体験できることから、鳥取で働くイメージが湧きやすかった」など、満足した声が寄せられました。

豊島前学長による特別講義を開催

2022.7.21



医学部講義実習棟において特別講義を開催、前鳥取大学長の豊島良太先生(現・山陰労災病院院長)をお招きし、医学部医学科1年生を対象に「米子医学専門学校から鳥取大学医学部まで」と題してご講演いただきました。

豊島前学長は鳥取大学医学部の歴史について、国や鳥取県の公文書、終戦前後の新聞記事、接收された米子市立義方小学校の沿革史などの膨大な資料を基に、独自に調査研究されています。学部設立の経緯や当時の状況について時系列で分かりやすく教えていただき、学生からの質問にも丁寧に答えてくださいました。この春入学したばかりの学生にとって、本学医学部の成り立ちを知る貴重な機会となりました。

医学科1年生が授業「大学入門ゼミ」で 作成したPR動画の表彰式を開催

2022.7.20



医学部医学科1年生が、授業「大学入門ゼミ」において、医学部PR動画を作成し、その表彰式が行われました。この動画は、入学したばかりの1年生が7つの班に分かれ、企画・撮影・編集まで自分たちの手で趣向を凝らし作成したものです。各班が作成した動画を教員や学生同士で評価を行い、順位ごとに表彰し記念品が授与されました。

この動画作成を通じて、鳥取大学医学部や病院、地域のことなどを理解するとともに、グループ活動を行うことにより学生同士の親睦を深めることができました。

最優秀賞を受賞した動画はこちら
<https://www.med.tottori-u.ac.jp/news/32354.html>



大学からのお知らせ

INFORMATION



毎日利用するから
鳥大生の食事は美味しく! 楽しく!

米子キャンパス 医学部食堂

鳥大生に聞く! 『医学部食堂ってどんなお店?』

実習など時間が限られる中、栄養バランスのとれた食事ができる大切な食堂

メニューが豊富

野菜小鉢から選択できることも魅力



忙しいからこそ、
しっかり食べてほしい!!

白衣等の実習服で来店される学生も少なくありません。食事の時間だけでもホッと一息つける空間を準備したいと考えています。

長期休暇期間も営業!!

夏季・春季休暇の時期も生協食堂は営業しています。年間を通してフェアメニューも準備していますので、色々な味を楽しんでください!

紹介動画はこちら



鳥取キャンパス ベーカリーカフェセルリア

鳥大生に聞く! 『セルリアってどんなお店?』

店員さんが温かい!

おいしいパンやドリンクが揃っている

朝に行けばその日のいいスタートを切ることができる

気分転換になる場所

猛暑を吹き飛ばす! スペシャルドリンク!!



ドリンクの色やトッピングが浴衣を、ラムネが夜店を連想させます。パチパチと弾けるキャンディーは花火をイメージしています。

夏っぽい味で美味しかった

紹介動画はこちら



在学生のための総合窓口サイト『maruco』、 生協マイページがリニューアルオープン

「最新の店舗営業時間」「お子様の食事履歴」など、Webサイトmaruco(マルコ)からご覧いただくことができます。ミールカード利用者限定のサービスもあるので要チェックです!!

まずは右のQRコードからアカウントを作成してください。【お問い合わせ】honbu@toridai.coop

TOPページ



アカウント作成



編集後記

EDITOR'S NOTE

新型コロナウイルス感染症の流行から約3年、停止していた渡航留学が、制限付きではありますが徐々に再開してきました。また、日本にいながら留学を経験できる「オンライン留学」という新しい留学方法も定着してきています。

今号ではそんな留学事情も含め、本学の留学を支援している国際交流センターについて特集しました。今回は教職員だけでなく、4名の学生さんに取材にご協力いただきました。皆さん共通して受け答えがしっかりとっている上、直近の目標や将来のビジョンを明確に持っておられ、今後どのように成長し、活躍されていくのかと楽しみます。

また、今号より新しく「とりりんの授業潜入レポート」がスタートしました。アンケートで多かった「とりりんをもっと出してほしい」「授業の様子を写真中心に特集してほしい」という2つのご意見を融合させた新企画です。今号も皆さまからのご意見を参考に、誌面をブラッシュアップしていきたいと考えておりますので、アンケートにてご意見、ご感想を送りいただけますと幸いです。

Circle Activities

漕艇部は男性17人、女性29人と、女性に人気のあるサークルです。中高生からボート競技をやっている人はほとんどいないので、大学から新たに始めやすいスポーツです。

ボートを漕いで1000mのタイムを競うもので、単純な動きを繰り返す競技なので、地道にコツコツ頑張れる人に向いています。1人でボートを漕ぐ「シングルスカル」、2人乗りの「ダブルスカル」、船のペースを測るコックス1人と船を漕ぐローヤー4人の合計5人が乗る「クオドルプル」の種目があります。

2人以上で漕ぐときは、ボートのバランスを保つのが大変です。オールの操作も結構難しいのですが、何十回も練習することでクルー同士の息が合い、徐々にスピードが上がっていきます。1000mも漕ぐと



部長
ほりかわ けん
堀川 健さん
医学部医学科 4年



と、心拍数も200近くまで上がります。足と背中の筋肉を使って漕ぐので全身が鍛えられ、アスリートのような体型になり、成長を実感できるところが漕艇の魅力です。

練習は、毎週火・木曜日の17時40分から、土曜日は8時40分から開始します。風の影響を受けやすいので、大会前は風があまり吹かない早朝6時半にも練習します。活動場所は、本学米子キャンパス校舎と医学部附属病院の真裏にある「中海(なかうみ)」という湖です。

基本的には、全部員が大会に出場します。例年8月に行われる西日本医科学学生総合体育大会で成果を上げることが目標に、日々練習に励んでいます。部員は現在も募集中。気軽に体験しにきてください!

サークル紹介 医学部漕艇部



先ずれば“就活”を制す!!



後期が始まり、配属される研究室の決定や卒論に向けて具体的に考え出したことで、本業(学業)が忙しくなってきた学生も多いと思われます。この忙しい時期に就職活動開始に向けた準備も本格化してきますので、綿密なスケジュール管理と就活対策にも考えを向けていただくことをお願いします。企業によっては早期から採用活動を行うケースもあるようなので一概には言えませんが、この時期に行っていただきたいことは「自己分析」と「企業研究」です。夏季休暇前に行った方もおられるかもしれませんが、インターンシップ等を体験した後でどのように変わったかを考えることも大事です。

自分のことは自分が一番知っているかもしれませんが、就職活動で自分を評価するのは他人です。出会ってから数十分で評価されるケースもあるので。学生の皆さんはこの数十分のためにどこまで準備を整えてきたかが問われています。自分はどんなことに興味があり、これまでどんなことをやってきたのか一度考えてみてください。可能であれば、他人からどのように見られているのかを知るために、親御さんや友人、指導教員、キャリアセンターの相談員等、第三者の意見にもぜひ耳を傾けてください。きっと自分の知らない自分が見えてくるはずです。

また、企業に対する知識も蓄えてください。人は、名前も何をやっているのかも知らない企業には就職できません。企業は何を行っていて、そこに働くどんな仕事ができるのか、その仕事は本当に自分がやりたいことなのか、考えてみてください。日本国内には400万社の企業があるといわれており、その中から本当にやりたいことができる企業を見つけていただきたいです。

就職活動の準備は一朝一夕では整いません。時間を要しますので、ぜひ早めの準備に取りかかってください。

キャリアセンターの相談予約方法について

10月から就職相談のオンライン予約を開始しました。相談希望の方は、「鳥大キャリアナビ」から手続きを取ってください



就職情報

JOB HUNTING INFORMATION





読者アンケートにご協力いただいた方へ
プレゼントが当たる!

今後のよりよい誌面作りのために、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様にプレゼントを進呈いたします。

アンケートのご回答はこちらから

プレゼント応募締切 | 1/31 (火)

※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送以外には使用いたしません。また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



鳥取大学の をつぶやいています!
鳥取大学公式Facebook & twitter

@toririn @tottori_univ

とりりんが大学のイベント情報、学生活動、
キャンパスの様子などを随時発信中!



フォロー
してね

地球と人にやさしい環境づくり



やまこう建設株式会社

代表取締役社長 岡田 幸一郎

本 社 〒680-0903 鳥取市南隈 255 TEL(0857)28-5511 FAX(0857)28-8171
米子支店 〒683-0811 米子市錦町 3丁目 90-4 TEL(0859)32-0911 FAX(0859)22-3214
松江営業所 〒690-0872 松江市奥谷町 73-1 メンカげやま 2-102号 TEL/FAX(0852)67-6000

匠の業 × IT 技術

ライフイベントにぴったりの一着を



<https://goodhill.co.jp>

GOODHILL 株式会社 / バイテック

測る、創る、診る

～技術で地域を支えます～

鳥取・倉吉・米子を拠点に
測量・調査・設計から維持管理まで



西谷技術コンサルタント株式会社
Nishitani Engineering Consultant Co.,Ltd.

風紋のバックナンバーは、こちらから
www.tottori-u.ac.jp/fumon

鳥取大学広報誌 検索

鳥取大学に関するお問い合わせ

- 入学試験 0857-31-5061
 - 公開講座・社会貢献 0857-31-6777
 - 授業料納入 0857-31-5029
 - 研究・産官学連携 0857-31-5608
 - 学生・学生生活 0857-31-5053
 - 学生就職支援 0857-31-5456
- その他はホームページ <https://www.tottori-u.ac.jp/ask/> をご覧ください



編集発行 / 広報委員会広報誌編集専門委員会

2022年11月発行

會見忠則 (委員長・農学部) 小野達也 (地域学部) 鱒岡直人 (医学部) 塩崎 一郎 (工学部)
辻 涉 (農学部) 滝波 稚子 (教育支援・国際交流推進機構) 保坂理和子 (研究推進機構) 藏田 修一 (総務企画課)

〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 TEL.0857-31-5006 FAX.0857-31-5018
[E-メール] toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp [ホームページ] <https://www.tottori-u.ac.jp/>